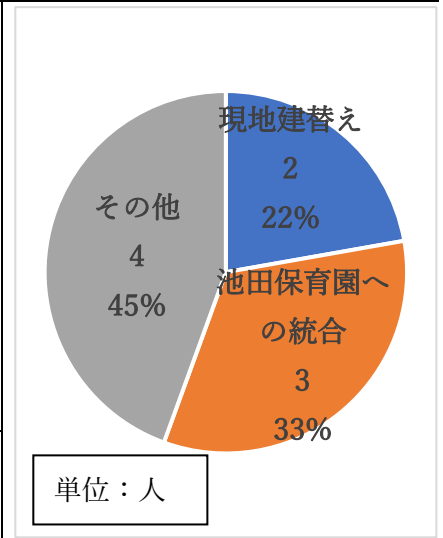


保育園・小学校等のあり方に関するアンケート集計 (R4. 4. 26)

氏名	1. 保育園																																																																																							
	(1) 会染保育園老朽化対応	(2) 左記の理由																																																																																						
1	池田保育園への統合	少子化の進む中でこれからは年平均 30 人前後の出産数と予想される。統合し、メリットを生み出し、保育士を増加させ質のよい教育（環境）を作った方がよい。人間は集団で生きる動物であり、幼児の時からなるべく多くの人に接した方が将来集団の中に入り、生きていくのだから。生きる力を養う為に、泣かされて、がまんしたり、協力したり、一緒に遊ぶことが必要である時期である。																																																																																						
2	池田保育園への統合	<p>○年度毎出生数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出生数</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>36</td> <td>51</td> <td>25</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>2022/4/1現在</p> <p>○保育園園児数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5歳児</td> <td>65</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>36</td> <td>51</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>34</td> <td>48</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>44</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>19</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>0歳児</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>190</td> <td>166</td> <td>156</td> <td>130</td> <td>123</td> <td>102</td> <td>107</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記年度毎出生数から推計すると、R6より池田保育園の定数150名を下回ります。 R10は110名と推計。従って、池田保育園に統合するべきと考えます。 100名程度の園児数で、池田、会染2ヶ所の保育園は、必要ない。 建設に6億かけるより、園児が増えるよう子育て支援策を充実すべきです。 町民アンケートにおいても、約7割が池田保育園に統合の意見です。</p>	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	出生数	52	53	36	51	25	27	区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	5歳児	65	52	53	36	51	25	27	30	4歳児	50	50	34	48	23	25	28	28	3歳児	44	32	47	22	24	27	27	27	2歳児	14	22	11	12	13	13	13	13	1歳児	19	8	9	10	10	10	10	10	0歳児	1	2	2	2	2	2	2	2	計	190	166	156	130	123	102	107	110
区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																		
出生数	52	53	36	51	25	27																																																																																		
区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																																																																																
5歳児	65	52	53	36	51	25	27	30																																																																																
4歳児	50	50	34	48	23	25	28	28																																																																																
3歳児	44	32	47	22	24	27	27	27																																																																																
2歳児	14	22	11	12	13	13	13	13																																																																																
1歳児	19	8	9	10	10	10	10	10																																																																																
0歳児	1	2	2	2	2	2	2	2																																																																																
計	190	166	156	130	123	102	107	110																																																																																
3	その他 【具体案：改修工事を行った上で、10年程度経った後に池田保育園との統合などを検討する。】	<p>① 会染保育園については、すでに耐震工事を行うなど主要構造物はまだ使用可能と考えられる（要確認）。</p> <p>② 6年後の令和10年度には池田町における保育園児数は現在の6割程度になると見込まれ、令和14年度（10年後）前後にはさらに少なくなると思われる。</p> <p>③ 財政危機の状況にある中、4～6億円の費用を掛けて、新築（現地建替え）や増築（池田町への統合）は不要な投資と考える。</p> <p>④ ②に示した通り、10年前後経てば、保育園児数も大幅に減少し、増築せず池田保育園に統合することも可能であり、その場合、大幅な経費節減になると見込まれる。</p> <p>⑤ 将来における池田町の保育園児数に見合わない投資は控えて、ある程度の収容必要数まで減少した時に新たに計画すべきと考える。</p> <p>⑥ なお、会染保育園の老朽化に対しては、ある程度の延命化措置（改修工事）もやむを得ないと考える。</p>																																																																																						
4	その他 【具体案：現行の想定スケジュール（「令和5年度中に最終結論・令和6年度設計・令和7年度工事・令和8年度利用開始」）の先送り】	<p>・学校保育課長の説明にあったように、平成26年に耐震補強の大規模改修が行われ長寿命化が図られているとすれば、使用可能な間は現行施設を使用すべき</p> <p>・近年保育園児数が急速に減少する傾向にある中で、ある程度のスケジュールの先送りが可能となれば、こうした園児の減少傾向が今後も継続するのかどうかの見極めや将来の園児数の推計などが容易となり、それを踏まえての検討・議論が可能となる</p> <p>・前回の委員会での山崎委員の意見にもあったように、令和4年度から5年間を財政危機緊急対応期間としていることとの整合性や、（6億5千万とされる？会染西部園場整備事業が実現可能性のあるものだとすれば、）2つの大規模事業を同時期に行う体力は池田町にはないのではないかとの観点などについて考慮が必要である</p>																																																																																						
5	その他 【具体案：現状を生かす。必要に応じてメンテナンスを加え、園舎の耐久年数を伸ばす。】	<p>・幼児期は、居住地に近い地元保育園での保育が望ましい。</p> <p>・仕事をもつ保護者にとって、地元の保育園の送迎は負担感の軽減となる。</p> <p>・保育園は地域住民の心の拠りどころである。子ども達の元気な声が地域に響くことが地域の力となる。</p>																																																																																						
6	池田保育園への統合	人口減少で、今後園児も減少傾向にある中、効率的な運営を考えると統合が望ましいと考えます。 池田保育園は建物も新しく、設備も整っており統合しても運営が可能と考えます。																																																																																						

7	現地建替え	<p>①保育園は子育ての中心施設であることから、地域に密着した施設として存続すべき。</p> <p>②子どもが少なくなるとはいえ、50～70人の中規模保育は、むしろ規模として適切であり、子どもに目が行き届き、保護者との信頼関係を築きやすい利点を持つ。</p> <p>③将来の子どもの数を見通して、建て替えるにしてもコンパクトで安全な施設にすること、財政状況を踏まえ、建て替えの時期も答申よりも1、2年先に延期すべき。</p> <p>④建て替える前提として、大規模リフォームが否定された経過を明らかにし、ほとんど新築と変わらない状態を作れるのであれば、財政上の試算を示す必要がある。</p>
8	その他 【具体案：会染保育園を改修し、長寿命化を図る。】	<p>“地域の子は、その地域が育てる”の理念の下に、子供の健全育成を、地域で見守り育てることが、重要なことと思います。言うまでもなく、保育園は、地域にとって文化、教育、そしてコミュニティの場でもあります。地域に、保育園が無くなることは、地域に子育て世代が流入しなくなり、益々人口減、少子化を加速化してしまいます。また、池田町は、南北に長いという、地理的条件を鑑み、当面のあいだは、必要最低限の改修に止め、長寿命化を図る。会染保育園の検討委員会でも浮上した、保育園の浸水対策として、2階建てを提言しておりますが</p> <p>住民も活用出来る併設の避難タワーを建設し水害に対応する。国も防災・減災、国土強靱化対策の財政措置をしており、一考してみる価値があると思います。</p>
9	現地建替え	<p>会染保育園→会染小学校→高瀬中と池田保育園→池田小学校→高瀬中の2ルートは維持したい。ただし、子どもの数が極端に減少することがないことが前提である。</p>



氏名	1. 保育園
	(3) その他意見
1	<p>保育園の遊びの場、庭園を今の3倍にし、又、たんぼや畑もそなえ、なるべく外で遊ぶ時間を多くする事。統合したら園庭30a 買い取り又貸してもらいのびのび遊べる様な環境をつくる。動物を飼うことも必要。たんぼを作り畑も5a位にして食べる事に感謝する人間を育てる。食べる物をつくる大変さを知ることが感謝する人間になる。</p>
2	<p>教育委員会の推計は、園児数 R7—179、R10—169、R15—150、R8 に会染保育園現地建替え6.5億円、池田保育園へ統合4億円計画。基本となる園児の推計が過大であり、現実的でない。一旦計画を白紙にして、園児数の推計をやり直し、そのうえで再度計画を立て直す必要があります。</p>
3	<p>①会染保育園の延命化措置後の対応については、保育園児数などの新たなデータや他の状況を勘案して、改めて検討する必要があるものの、現段階では池田保育園への統合を念頭に置いて検討してはどうかと考える。</p> <p>②会染保育園の防災機能については、別途の方策を検討すべきと考える。</p>
4	<p>・当委員会は、専ら行財政改革の推進という観点で議論を行っているが、保育園の統廃合の可否といった問題は、こうした観点以外に(以上に)、地域のコミュニティの核となる施設として存続させるべきではないかとの視点や、都市部からの移住者や近隣自治体からの転入者を呼び込む上で重要な施設ではないかとの視点などからの検討が必要な問題である。</p> <p>・当委員会より幅広い視点から検討されたはずの池田町学びの郷活性化委員会 で両論併記の結論しか出せなかった本問題について、専ら行財政改革の推進という観点で議論を行っている当委員会が、統廃合が是か否かという結論を出すというのは無理があるのではないかと疑問を持っている。</p> <p>・そもそも本問題のような問題は、住民の関心が高い住民生活に直結する問題であり、住民の代表である町議会議員間で議論を尽くしたり、場合によっては町長選挙の争点とすることなどにより決められるべき問題ではないか。</p>
5	<p>・財政状況が、良好であれば現地建て替えも視野に入れたい。</p> <p>・池田保育園への統合については、池田町の地勢を見た時、会染地区からの通園は保護者の負担(幼児の負担)が多い。</p>
6	<p>統合する場合は、会染保育園の園児は送迎を希望します。</p>
7	<p>①教育委員会では未満児の民間保育への移行も一時期検討されていたが、公的な保育行政を守るべきである。</p> <p>②財政的な無駄は極力排除すべきだが、手厚い保育のあり方が、池田町の人口対策にも貢献する。子育て支援の施策をハードとソフト両面で抜本的に強化する必要がある。</p>
8	<p>現状は、両保育園を統合しても、池田保育園増築に、4億300万もの経費がかかり、スケールメリットが感じられなくナンセンスです。持続可能な限り二つの保育園を存続し、もっと少子化と保育園の老朽化が進んだ時点で、再考すべきと考えます。現地建て替え案は、少子化が進みかつ「財政危機緊急対応期間」に、高額(6億4千7百万円)な財源投入は、如何なものかと思えます。会染保育園は、耐震化も済んでおり、現場の先生方からも、大規模改修をしなくても、当面は使用可能であるとの、お話を伺っております。</p>
9	<p>会染保育園のあり方が長期にわたり棚上げされてきたことも結論を出しにくくしている。池田保育園への統合は財政面を含め明確な根拠を示すことが必要だと思われる。</p>

氏名	2. 小学校																													
	(1) 池田・会染小統合について	(2) 左記の理由	(3) その他意見																											
1	小学校を再編・統合する	生徒数の減少によりなるべく多くの人と接しながら切磋琢磨し生きる力を養った方がよい。集団ですスポーツが出来なくなる。ドッチボール運動会の競技教育はハードも必要ならソフトが一番大事。生きる力をたくましく生きる力を養うことが必要	農業体験を多く取り入れ、又、郷土の歴史を学ばせ、ほこりのもてる町にする。常にふるさととは遠きにありて思うもの、心の中に常に郷里の思いがあり、生きる力となる学習を取り入れていく事。地域の人々を常に生きる事を学ばせる事。池田町ならの特色ある学習の取組みが必要。																											
2	小学校を再編・統合する	<p>出生数 R2 25人、 R3 27人、 2校にすれば、学級人数15人以下となります。今後においても少子化がつづきます。30人前後の出生に対して2校は必要でない。2校にすると、15人程度の学級がほとんどとなる。まるで分校のような学習環境。R10 ころ統合すべきと考えます。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="9">○小学校児童数推移</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>412</td> <td>416</td> <td>403</td> <td>388</td> <td>359</td> <td>335</td> <td>288</td> <td>244</td> </tr> </table>	○小学校児童数推移									区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	児童数	412	416	403	388	359	335	288	244	
○小学校児童数推移																														
区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																						
児童数	412	416	403	388	359	335	288	244																						
3	小学校を再編・統合する	<p>① 小学校についても、令和10年度には、池田町の生徒数が現在の6割程度と見込まれることから、小学校施設の老朽化の度合いを勘案しつつ、将来的には池田小学校と会染小学校を統合することが望ましいと考える。</p> <p>なお、池田小学校については、2014～19年度に掛けて大規模改修を行っていることから、池田小学校への統合が合理的と考える。</p> <p>② 現在、会染小学校については、令和8年度に2.5億円を掛けて大規模改修を行うこととしているものの、池田町における生徒数が池田小学校における収容人数を下回る時期に統合を行うべきと考える。また、それまでの間に老朽化に対応する必要がある場合には、最小限の改修にとどめるべきと考える。</p>	○ 池田児童クラブ・会染児童センターと統合し、小学校や児童クラブ・センターの稼働率を高めるべきと考える。																											
4	(児童数の減少により教育に支障をきたすといった状態に陥らない限り)現状のまま2つの小学校を残す	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は地域のコミュニティの活力等の維持にとって中核となる施設であり、その度合いは保育園よりはるかに高いものと考えている。 ・小学校の統廃合により地域のコミュニティの活力が失われ、衰退していく事例は全国各地で見られるところである。 ・従って、小学校については、児童数の減少により教育に支障をきたすといった状態(複数年で1学級とせざるを得ない状態等)にならない限りは、統廃合することなく存続させるべきと考える。 	・小学校の存廃は保護者をはじめとする地域住民にとって極めて関心の高い問題であり、(2)に記した児童数の減少により教育に支障をきたすといった事態に陥っていない段階で仮に再編・統合を打ち出したとしても、会染地区の住民の合意を得られる可能性はほとんどないのではないかとと思われる。																											
5	現状のまま2つの小学校をのこす。	各校の歴史・伝統を尊重する。																												
6	小学校を再編・統合する		人口減少で、児童数も少なくなる為、統合が望ましい。小学校は会染小学校の活用を希望する。理由は町内の中間に近く、両方から通学しやすいと考えます。																											
7	小学校を再編・統合する	現在は、池田、会染両校とも学校としての形を維持できない状態ではない。今後クラスを維持できない状態(全校100名程度)を切るような状態が予測される10年後あたりをメドに、統合を考えてよい。	まず、可能な限り現状を維持できるように努めるべきである。統合する場合には、当然ながら行政側の明確な方針と、保護者・地域住民の合意形成に向けた努力が求められる。																											
8	現状のまま2つの小学校をのこす。	<p>池田、会染両地域の地域性を鑑みると、池田町に小学校を二校存続させる事は、不可欠であると思います。池田小学校、会染小学校の個性輝く特性を、如何なく発揮し、子供がまん中の魅力ある学校づくりを希望するものです。</p> <p>この観点から、現状のまま2つの小学校を存続し、会染小学校においては、改修し長寿命化を図る。子供の健全育成の為に、教育環境を整えてあげたいと思います。</p> <p>しかしながら、大改修は、2億5千万円の財源を投入予定です。「緊急対応期間」である事を忘れず、費用対効果を鑑み、よく精査し、ムダのない事業を推進して頂きたい。</p>	<p>保育園の考え方と類似致しますが、地域性を考慮すれば、池田町には、2園2小学校が、必要不可欠です。少子化は、目に見えて進捗しておりますが、多様化した現在の子供たちに、最善の教育環境は、少人数クラスで一人一人に焦点を合わせ、きめ細やかな教育環境を整えてやる事こそ必須条件です。</p> <p>子育て世代の移住者にとって、住宅環境と共に、教育環境を整え、移住したくなる町を、創出したいものです。</p>	<p>その他 0 0%</p> <p>小学校を再編・統合する 5 56%</p> <p>現状のまま2つの小学校を残す 4 44%</p>																										
9	現状のまま2つの小学校を残す	保育園同様に2ルートを維持したい。																												

単位：人

氏名	3. 児童クラブ・センター	4. 学校教育系・子育て支援施設の検討に当たっての考え
	(1) ご意見	(1) ご意見
1	近い将来は小学校の中に時ねし学童クラブとしていけばよいのではないかと。未満児の為にセンター機能は1カ所にまとめればよい。	小学生、中学生は出来る所は地域の公民館でみてもらう様にしようか。地域の教育者やおじいちゃん、おばあちゃんと過ごす時間を週に1日位は必要である。むかしの子屋小屋方式で。
2		
3	① 池田児童クラブ・会染児童センターについては小学校と統合し、授業時間は小学校、放課後は児童クラブ等として活用する。 ② 統合後の児童クラブ・センター跡地については普通財産とすべきと考える。	○ 学校教育系・子育て支援施設は、地域の拠点として重要な役割を担っているものの、2つの保育園間は4km弱、2つの小学校間は2.5kmと、かなり近い距離にあると言えます。 また、地域の拠点として重要な役割を担っているからこそ、保育園・小学校を統合することによって池田町としての一体感を醸成する必要があると考える。このまま保育園・小学校を2つずつ残した場合、池田町の一体感は醸成されないのではないかと思います。 このような意味から、むしろ保育園・小学校を2つずつ残すべきではないと考える。
4	次の理由により、池田児童クラブ・会染児童センターは存続させるべきと考える。ただし、管理経費に節減の余地がないかは検討すべきである。 ・ 共稼ぎ世帯が増加するとともに、世帯の核家族化が進行する中で、放課後児童対策の重要性が増していること ・ 小学校の2校体制を維持しつつ、児童クラブ(センター)のみ統合というのは現実性がないこと(例えば、仮に両者を池田児童クラブに一本化したとしたら、会染小学校の児童は放課後に約2km離れた池田児童クラブに通えということになり、児童センターが廃止されたのと等しい結果となってしまふ。)	1. (3)に記したように、学校教育系・子育て支援施設の検討については、行財政改革の観点のみではない幅広い視点で、可能な限り住民の意思が十分に反映されるような形で検討がすすめられるべき問題と考える。
5	・ 発達障害をかかえる児童が安心して過ごせる「放課後デイサービス」についてご検討いただきたい。 ・ 中学生や高校生が放課後立ち寄ることができるような児童センターのあり方についてご検討いただきたい。	財政難の現状に鑑み、それが、本当に必要とされる設備や施設であるか十分に検討した上で着手していただきたい。
6	統合が望ましい	労働者が子育てをしながら安心して働ける環境を整えるため、放課後児童対策の充実をはかる。センターや児童館の時間など身近に利用できる環境を作る。
7	改革プランについての意見はとくになし。 地域のボランティアによるサポート体制を充実させたい。	① 教育については、財政的観点も当然必要ではあるが、それは優先事項ではない。行政として、教育理念だけではなく具体的な施策として、1人ひとりの子どもに十分な配慮ができる環境を整えるべきである。 (施設面だけではなく、働く保育士、教師の労働環境、労働実態に目を向けること) ② 旧教育会館を、子ども会館として文化、芸術、科学に気軽に親しめる場、もしくは気軽に居場所として利用できる場として充実させてほしい。
8	池田児童クラブ・会染児童センターについては、特段コメントはありませんが、二つの子育て支援施設を今後も存続し、子供の居場所づくりと教育環境づくりに貢献してほしいとおもいます。	池田町は、昨年度から第2次教育大綱が掲げる「信州池田町学びの郷保小中15年プラン」具現化の為に、各教育施設がより連携を密にして交流を推進すると言う、崇高な教育理念実現の為に、関係部所の皆様におかれましては、益々のご尽力を宜しくお願い致します。
9	家族構成は共稼ぎの実態を考えると各小学校に放課後の児童を預ける児童クラブは必要と考える。保育園へ入園していない幼児の取組みを会染児童センターで行っているとのことであったが、工夫の余地がないか確認は必要と思う	保育園と小学校のあり方は園児や児童の人数が大きなポイントとなると思う。2保育園と2小学校の維持することが望ましいが、極端な減少が見込まれるとするならハードルは高い。 町の施策として子育て世代の人口増をどうにか明確なビジョンを描き取り組む必要がある。中長期的な取り組みが必要と思う。